

冬季特有の労働災害を 防止しましょう!!

通路・作業床の凍結・ 積雪による転倒災害



予
防
策

- ▶ 滑りにくい靴の着用
- ▶ 急がず、短い歩幅で歩くこと
- ▶ 凍結防止剤の散布
- ▶ 雪を除去するためのマットの敷設 など

雪道等での車・バイクの スリップによる交通災害



予
防
策

- ▶ 冬用タイヤの装着
- ▶ 速度を控え、急ハンドル・急ブレーキ・急発進をしないこと
- ▶ 無理のない走行計画を立てること
- ▶ 交通安全マップの作成 など

屋根除雪中の墜落災害



予
防
策

- ▶ 『屋根除雪安全指針』に定める事項の徹底
- ▶ 作業指揮者を選任すること
- ▶ 2人以上で作業を行うこと
- ▶ 保護帽・安全帯の着用
- ▶ 作業計画の策定 など

除雪車・除雪機への 巻き込まれ災害



予
防
策

- ▶ 誘導員を配置等により、作業範囲内への立入禁止を徹底すること
- ▶ 運転時には周囲の確認を徹底すること
- ▶ 機械の故障・点検時にはエンジンを停止すること など

雪による労働災害が急増しています

【新潟県における休業4日以上労働災害発生件数の推移】



平成24年1月～3月に発生した災害事例

業種	発生月	発生状況
警備業	1月	交通誘導の警備業務に従事していた労働者が、凍結路面で転倒し頭部を強打した。(1名死亡)
建設業	2月	道路除雪作業中、現場で除雪車を修理していたところ、オーガに巻き込まれた。(1名死亡)
建設業	2月	住宅2階屋根上にてスノーダンプで除雪作業中、地面に墜落した。(1名死亡)
小売業	2月	新聞を配達してバイクに戻ろうと歩き出したところ、凍結した路面で転倒し足首を骨折した。(休業3ヶ月)
小売業	3月	配達車の荷台から商品を持ち上げようとしたところ、雪により足が滑り、腰を圧迫骨折した。(休業3ヶ月)

冬の転倒災害を予防するには



転びにくい歩き方

①小さな歩幅でゆっくり歩く

歩幅が大きいと、重心の上下移動量が大きく、かかと側から着地することにもなるため、転倒しやすくなります。

②やや前傾姿勢で足の裏全体を踏みしめて歩く

重心をやや前に置き、膝の関節を柔らかくして、土踏まずの前のあたりでそっと着地し、足の裏全体を路面にゆっくり垂直に踏み降ろします。



冬用の靴の選び方

靴底にも得意な路面と不得意な路面がありますので、靴を選ぶ際には、使用状況や用途を販売店に説明して適切な靴を購入してください。なお、一般的な特徴は以下のとおりです。

①発泡ゴム等の柔らかいゴム製の靴底は、路面への吸着力により滑りを防止しますので、適切な溝とともに比較的多くの路面に対応します。

②摩擦材入りの靴底や金属ピンのある靴底は路面を引っ掻くことで滑りを防止しますので、凍結路面や圧雪で一定の効果があります。脱着式のスパイクなども販売されていますので、使用状況に応じて使い分けてください。

【注意】冬用の靴は建物内等においては、溝に入った雪による滑りや、高い摩擦力によるつまずきを誘発することもありますので、建物の入り口で雪を落としたり靴を履き替える等の注意が必要です。

